

麻しん(はしか)患者の発生について

6月19日(金)、浜松市内の医療機関から浜松市保健所に「麻しんの発生届」が提出されました。患者は市保健環境研究所による検査の結果、麻しんであることが確定しています。

現在、当該患者の接触者の健康観察を進めており、発症した場合には直ちに受診するようお願いするなど、感染の拡大防止に努めています。

1 患者の概要

年代	性別	居住地	予防接種歴	発生届出日	結果判明日
20歳代	女性	浜松市	不明	6月19日	6月19日

2 経緯など

6月6日(土)	咳
6月8日(月)	発熱
6月9日(火)	発しん出現
6月14日(日)	海外(アジア圏)から帰国
6月16日(火) 6月18日(木)	市内医療機関A受診
6月19日(金)	市内医療機関Bを受診し、Bが発生届を提出 市保健環境研究所のPCR検査で麻しんウイルス遺伝子が検出 現在、解熱し回復傾向

3 患者が不特定多数の方と接触した可能性がある施設等

患者の滞在日時	施設名等
令和8年6月14日(日) 15時00分~17時10分	遠鉄空港直行バス e-wing 108号 セントレア(愛知県常滑市)→浜松駅

- ・ その他の関係施設については、接触者が特定されております。
- ・ 施設への直接のお問い合わせはご遠慮ください。
- ・ 麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以内と言われておりますので、現時点で上記施設を利用しても感染の心配はありません。

4 市民の皆様へ

3の時間、施設を利用した方は、接触後最大21日間(7月5日まで)体調に注意してください。
麻しん(はしか)を疑う症状(発熱・発しん・咳・鼻水・目の充血等)が現れた場合は、必ず事

前に医療機関へ連絡し、麻しん（はしか）の疑いがある事を伝えてください。受診の際は公共交通機関の利用を控えて、医療機関の指示に従って受診をしてください。

麻しん（はしか）は空気感染するなど、感染力が強い疾病です。しかし、予防接種を2回していれば、感染リスクは少なくなります。

渡航を考えている方で、ワクチンを接種していない方や接種したことが不明な方は、ワクチンの接種をご検討ください。

なお、厚生労働省検疫所ホームページ「FORTH（フォース）」で、渡航先の感染症情報などを知らることができますのでご参考にしてください。

5 麻しん発生状況（参考）

年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
浜松市	5	0	0	0	1	0	1	3
全国	744	10	6	6	28	45	265	525※

※ 令和8年6月19日現在の週報速報値

報道機関の皆さまへ

この情報提供は、感染症法の趣旨に則り、感染症予防啓発のために行うものです。つきましては、個人情報保護の観点から患者やその家族・関係者等が特定されないよう、提供資料の範囲内での報道に、格段のご配慮をお願いいたします。

【問合せ先】

浜松市保健所感染症対策課 感染症対策グループ

TEL：053-453-6118

※本日は対応のため、午後3時まで待機しています。

